

◇平成2年工業統計調査の概要（従業者4人以上の事業所）

平成2年12月31日現在における本県の工業（製造業）の状況を見ると、事業所数は7,650事業所となり前年に比べ355事業所（4.9%）の増加となった。業種別にみると、増加したのは、一般機械、電気、金属など19業種で、家具、繊維など3業種が減少した。従業者規模別にみると、4～9人規模、10～19人規模、20～29人規模などで増加し、減少したのは300人以上規模のみであった。市町村別にみると、四日市市、松阪市、度会町など60市町村で増加し、減少したのは熊野市、海山町など9市町村であった。なお、市部、郡部別に事業所数の構成比をみると市部62.4%、郡部37.6%となっている。

従業者は、229,387人となり前年に比べ6,694人（3.0%）の増加となった。業種別にみると増加したのは、一般機械、プラスチック、食品など19業種で、減少したのは繊維、衣服など3業種であった。従業者規模別にみると、100～299人規模、300人以上の規模、4～9人規模などのすべての規模で増加した。市町村別にみると、四日市市、津市、松阪市など42市町村で増加し、減少したのは鈴鹿市、桑名市、熊野市など27市町村であった。市部、郡部別に従業者の構成比をみると市部67.3%、郡部32.7%となっている。

製造品出荷額等は、7兆4,961億6,600万円で、前年に比べ6,280億9,000万円（9.1%）増加した。業種別にみると、増加したのは、電気、一般機械、輸送など19業種で、減少したのは、繊維、飲料など3業種であった。従業者規模別にみると、300人以上規模、100～299人規模などすべての規模で増加した。市町村別にみると増加したのは、四日市市、大宮町、松阪市など42市町村で、減少したのは大宮町、紀宝町、南島町など27市町村であった。市部、郡部別に製造品出荷額等の構成比をみると、市部76.2%、郡部23.8%となっている。

表1. 最近10年間の工業の推移（従業者4人以上の事業所）

（金額単位：百万円）

	事業所数			従業者数			製造品出荷額等		
	実数	対前年比 (%)	昭和60年 = 100	実数	対前年比 (%)	昭和60年 = 100	実数	対前年比 (%)	昭和60年 = 100
昭和56	7,179	101.0	95.5	196,853	102.4	92.3	4,800,901	107.3	83.5
57	7,129	99.3	94.8	197,242	100.2	92.5	4,973,683	103.6	86.5
58	7,583	106.4	100.9	204,955	103.9	96.1	5,268,160	105.9	91.6
59	7,246	95.6	96.4	204,575	99.8	95.9	5,461,520	103.7	95.0
60	7,517	103.7	100.0	213,283	104.3	100.0	5,748,138	105.2	100.0
61	7,414	98.6	98.6	214,456	100.5	100.5	5,581,029	97.1	97.1
62	7,205	97.2	95.8	214,814	100.2	100.7	5,596,749	100.3	97.4
63	7,622	105.8	101.4	220,684	102.7	103.5	6,203,373	110.8	107.9
平成元年	7,295	95.7	97.0	222,693	100.9	104.4	6,868,076	110.7	119.5
平成2年	7,650	104.9	101.8	229,387	103.0	107.6	7,496,166	109.1	130.4

（注）昭和56～元年は通産省確定数、平成2年は県集計の概数である。